



海南高等学校美里分校 マンスリータイムズ

# 分校の窓から

04  
2021

## マンスリータイムズをリニューアルしました

この春より、美里分校の行事や取組を紹介する学校広報紙『マンスリータイムズ』の紙面をリニューアルしました。タイトルは『分校の窓から』。これまでの内容に加え、分校の教育活動を通して見えてくる学校・地域の特色や課題を特集してお届けします。

### 分校の窓から世界が見える

美里分校のキャッチフレーズのひとつに、「分校の窓から世界が見える」があります。かつては、分校の生徒がみさと天文台の研究者の学界出席に随行して、オーストラリアやフィンランドを訪問したり、米フロリダ州で和太鼓演奏を披露して、芸術活動を行う現地の高校生と交流したりするなど、小規模校ながら活発な国際交流が行われていました。また、国内でも意欲的に国際交流イベントに参加し、来県した外国人と交流したり、学校・地域で外国人留学生を受け入れたりするなど、美里分校には身近に「世界」がありました。

近年は生徒数が減少し、積極的に国際交流

に参加する生徒は少なくなりました。少子化が進む地元地域では、小・中学校が休校となり、分校の生徒も多くが地域外から通学しています。地元の強い要望によって設立された美里分校ですが、現在は少人数のきめ細かい指導を望む生徒が通っており、学校の役割は大きく変化しています。しかし、これ以上の生徒数減少は学校の存続にも関わり、地域から学校がなくなる事態にもなりかねません。

また、周辺地域には公共交通機関がなく、生徒の多くは専用バスで通学しています。卒業後も同じバスで下校するため、美里分校の生徒は基本的に放課後がなく、部活動や補習

などの課外活動が大きく制限されています。

このように分校が抱える問題は、少子高齢化や交通過疎に悩む地域の課題と重なり、人口減少に直面する日本各地の過疎地域とも共有しているものです。いずれは、世界の先進国もこうした問題に直面することでしょう。今や日本の過疎地域は世界的課題の先進地でもあるといえるのです。

今、なぜこの地域で学ぶのか。地域から何を学ぶことができるのか。分校教育の在り方を考えることは、地域の課題と無関係ではありません。「分校の窓から」見える景色は、今も「世界」に繋がっているのです。





## 4.9 令和3年度 入学式・対面式

4月9日(金)、暖かな日差しが降り注ぐ春の日に、令和3年度美里分校入学式が挙行政され、川久保校長から男子3名、女子5名、計8名の入学が許可されました。

コロナ禍の中、昨年と同様規模を縮小した式典となりましたが、新入生代表の西彩名さんは「最善の努力を尽くし、自分たちの夢に向かって突き進んでいくことを誓います」と力強く宣誓しました。

校長は式辞でPCRを発見し、後にノーベル化学賞を受賞したアメリカの生物学者、キャリー・マリスを紹介し、発見の土台となる科学的知識を十分蓄えていたこと、アイデアの実証に粘り強く取り組んだことの価値を指摘しました。その上で新入生に、将来訪れる多くの決断の場面において、自分で判断

できる確固たる基盤を高校生活で身につけてほしいと激励の言葉を贈りました。

入学式の後、生徒会による新入生と在校生の対面式が行われました。生徒会長の中森和音さんが「不安なことや困ったことがあるかもしれませんが、私たちや先生方に相談して一緒に乗り越えていきましょう」と歓迎すると、新入生代表の山本優真くんは「新しい学校生活に少し不安を感じています。どうかいろいろ教えてください。そして仲良くしてください」と応えました。

新しい仲間を迎え、全校生徒は19名となりました。新型コロナウイルスの終息は未だ見通せませんが、これから学校や地域でさまざまな経験を積み重ね、大きく成長していくことを願っています。



## 令和2年度末 人事異動

前年度末に美里分校職員の異動がありました。2年連続の定数減となり、国が法律で示す教職員定数の標準を下回る状況となりました。各教科担当が1名となり習熟度別学習が困難になるなど、美里分校の教育活動にも影響が出始めています。今後は学校運営等の工夫に加え、外部スタッフや関係機関との連携を深め、美里分校のきめ細かい教育活動の維持に努めてまいります。

これまで美里分校のためにありがとうございました

**【退職】** 曲里 光弘 先生(数学)

**【転出】** 校長 笹井 晋吾 先生(桐蔭高校へ)

西村 俊治 先生(英語)(日高高校中津分校へ)

山下 湧輝 先生(地歴・公民)(日高高校定時制へ)

どうぞよろしくお願いします

**【転入】** 校長 川久保 尚志 先生(伊都中央高校より)

津田 敏宏 先生(地歴・公民)(海南高校大成校舎より)

加藤 丈博 先生(数学)(日高高校定時制より)

## 令和3年度 美里分校職員

1年担任: 牧野 充洋(保健体育)(生徒指導部長・生徒支援委員長)

2年担任: 稲垣 貴子(英語)

3年担任: 田和 憲司(国語)

総副担任: 津田 敏宏(地歴・公民)(進路指導部長・特別活動部長)

南出 廣幸(理科)(教務部長・総務部長)

加藤 丈博(数学)

松下 久記子(養護・教育相談)

教 頭: 西林 崇

校務員: 向井中 貴美

非常勤: 安川 奈保美(美術)

中谷 教子(書道)

小田 恵美子(家庭・学力アップ支援)

戸山 勝介(スクールカウンセラー)

丹羽 育子(スクールソーシャルワーカー)

Angus Robert Nicoll (FLT)

小林 修(就職指導員)

大浦 俊一(学習指導支援員)